

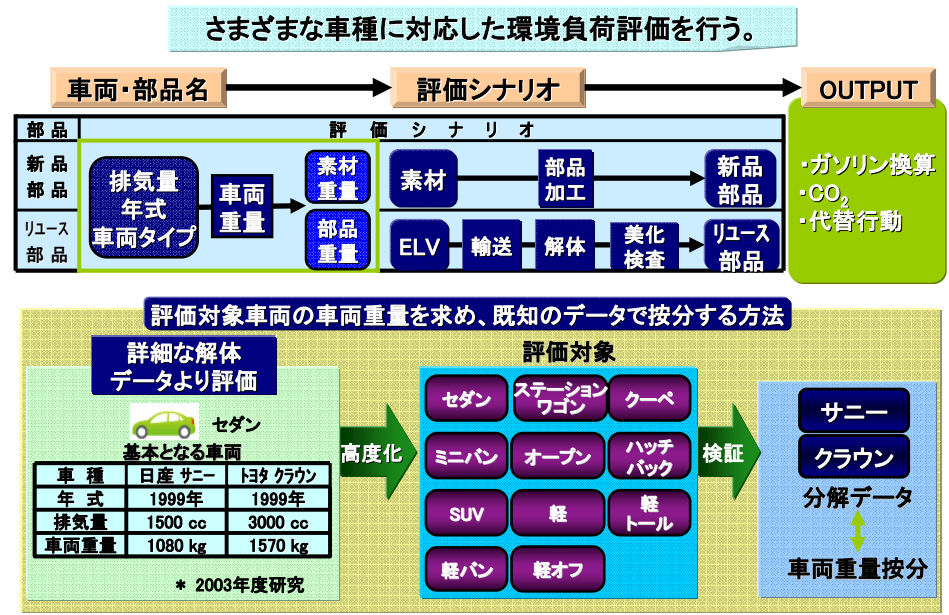
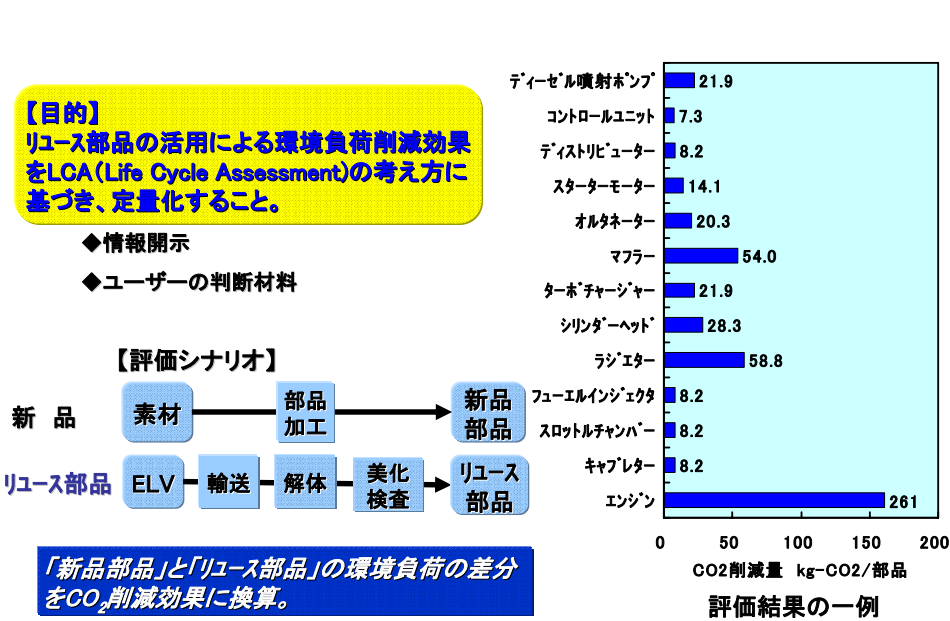
自動車リユース・リビルト部品普及システムの構築に関する研究	
題目	自動車リユース・リビルト部品の活用による環境負荷削減効果の定量化に関する研究
著者	早稲田大学 小野田弘士、永田勝也、大川慶太、根岸貴紀

【概要】

自動車リユース・リビルト部品の活用による環境負荷削減効果をLCA(Life Cycle Assessment)の考え方によって定量化し、その情報を有効活用することによって、自動車リユース・リビルト部品の活用促進を促し、エコ・ユーザーの育成に貢献する。

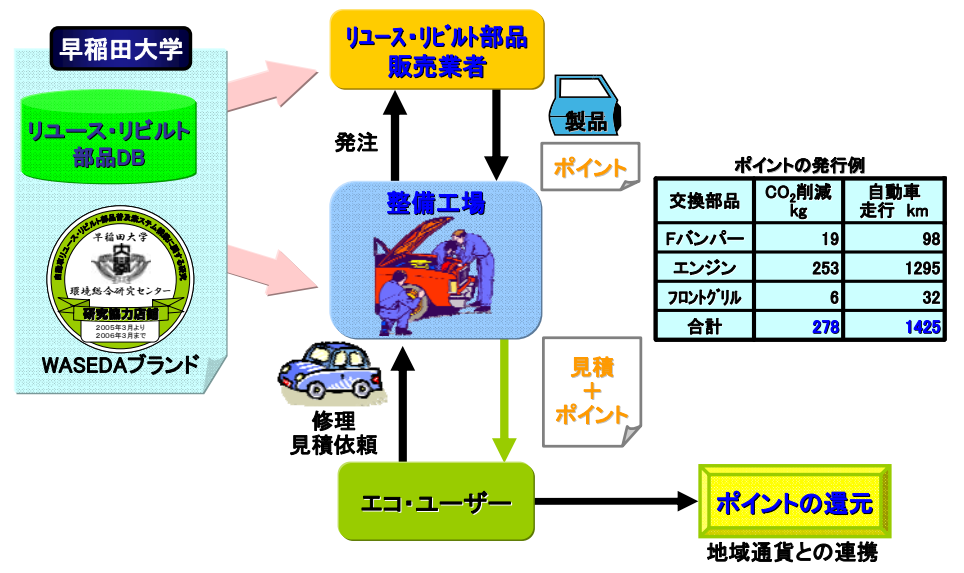
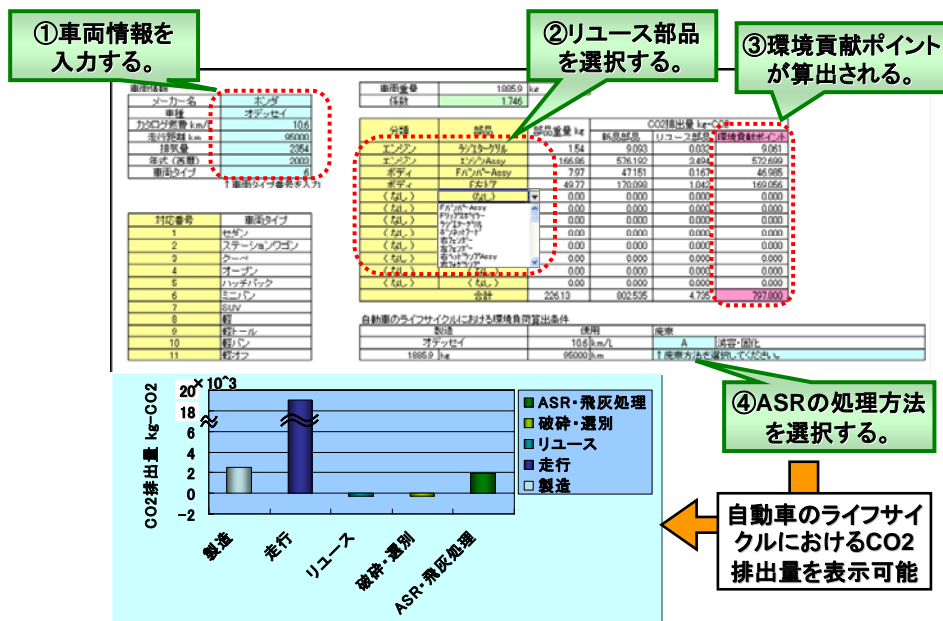
研究目的

- 排気量、年式、車両タイプ等を入力することにより、自動車部品のリユース、リビルトによる環境負荷削減効果を算出可能なデータベースを構築すること。
- 算出した環境負荷削減効果を活用することによって、自動車リユース・リビルト部品の活用促進を図るシステムを構築すること。



本研究のポイント

自動車リユース・リビルト部品の環境負荷削減効果のDBの概要



自動車リサイクルのLCAソフトの開発

本庄早稲田周辺地域での普及イメージ

本年度の研究開発の成果

- 自動車リユース・リサイクル部品の環境負荷削減効果を算定することが可能なDBを構築した。また、マテリアルリサイクルやASR処理を含めた自動車のライフサイクル全体の環境負荷削減効果を算出可能な評価ソフトを開発した。
- 本研究の成果は、自動車リサイクル部品販売団体協議会によって「グリーンポイントシステム」に組み込まれ、自動車リユース・リビルト部品の活用による環境負荷削減効果を対外的にPRするツールとして実用化された。

次年度計画

- 開発したDBの評価対象車種の拡張や永続的管理方法を構築し、その高度化を図る。
- 業界団体や各地域における事業者と連携し、本システムのさらなる普及をねらう。
- 本庄早稲田周辺地域において、自動車リユース・リビルト部品供給事業者、整備業者、損保会社、リース会社等と連携した実証事業を企画する。ユーザーヘインセンティブを付与するポイントシステムの構築を検討する。